

部分施用による ダイズのカドミウム吸収抑制技術の開発

背景・目的

ダイズのカドミウム濃度の国内基準値設定に対応するため、
カドミウム濃度低減対策が早急に必要

- 生産段階でのカドミウム濃度低減のため、「アルカリ資材による効率的なカドミウム吸収抑制技術の開発」を図る

現状と課題

- 資材の全面施用ではカドミウム吸収抑制が困難
- 全面施用に替わる新たな施用法の開発が必要



全面施用

- 資材の施用深度が浅い
- 根域が広がる



部分施用

- 幅20～30cm・深さ20cmに施用
- 根域が資材施用域に集中

研究内容

1. 資材施用幅によるカドミウム吸収抑制効果の解明
 - 吸収抑制効果を高める条件の解明
2. 施用法改善によるカドミウム吸収抑制効果の検証
 - 吸収抑制効果の安定性の解明(気象条件の年次変動下)
 - 技術の適用範囲等の整理(土壌カドミウム濃度の上限)

研究目標

- ◆ ダイズの生産段階でのリスク低減のための吸収抑制対策技術として提示
- ◆ 土壌中カドミウム濃度レベルに応じたリスク管理指針の策定に活用